第6章

自然と調和する住みよいまち

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(所属)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
					会計	投入コスト		活動実績(R6)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目			
611	街づくり計画部	都市計画課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		①庁内連携勉強会の実施	R5目標	R5実績		R6目標値が未達成の理由・分析	A	先進自治体の行政職員を講師に招き、同じ行政職員の立場から、エリアプラットフォームの意義、これまでの成果そして行政の役割を講演してもらい、職員の意識の醸成につなげることができた。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを	
			最優先	自治事務		16,506千円	16,503千円				指標名	目標設定の考え方・根拠						
			根拠法令	都市計画法、都市再生特別措置法、所沢市都市計画マスタープラン、所沢駅周辺グランドデザイン		R6予算現額	R6決算額(見込み)				実績	R6実績						
						106千円	100千円					1回(①、②、③とも)						1回(①、②、③とも)
			事業の目的及び具体的な内容	「居心地が良く歩きたくなる」街なかづくりに向け、官民が連携しパブリックスペースを活用しながら魅力ある街なか空間を創出するとともに、エリア価値の向上や地域の活性化を図るため、地域主体のエリアマネジメント組織を設立し、その組織が自立・自走できるよう支援することが目的である。 今後は、エリアプラットフォームの組織構成、活動内容の検討、公共空間を活用するための課題整理など、エリアの将来像を実現するための実行計画「未来ビジョン等」の策定に向けた取組を進めるものである。		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合				①3回	R6目標						
						1.51人	0人					2回						3回
			期間	R4 ~		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合					R6実績						
		1.73人	0人			R6実績												
		14,120千円	0人			R6実績												
611	街づくり計画部	市街地整備課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		①各地区で開催・出席した説明会、勉強会、役員会、総会の合計数(地元主催を含む) ②上記説明会等への参加者数	R5目標	R5実績		R6目標値が未達成の理由・分析	A	〇市街化区域編入を目指す上安松・下安松西地区については、土地区画整理事業の実施に向け、必要な助言を行うとともに、周辺自治会に対し事業に関する説明会を開催した。 〇土地利用推進エリアの関越自動車道所沢IC周辺地区について、準備会結成に必要なとなる仮同意書の収集を行った。	R6年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も	
			最優先	自治事務		1,261,789千円	1,188,867千円				指標名	目標設定の考え方・根拠						
			根拠法令	都市計画法、土地区画整理法		R6予算現額	R6決算額(見込み)				実績	R6実績						
						1,988,958千円	1,749,057千円					6地区						2地区
			事業の目的及び具体的な内容	市域を総合的に捉え、都市機能の無秩序な拡散防止と自然環境との調和に配慮しながら、定住人口や交流人口の増加、地域の活性化を図るため、計画的かつ適正な土地利用の転換をめざすものである。		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合				①149回 ②2,909人	R6目標						
						8.09人	0人					4地区						0地区
			期間	H28 ~		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合					R6実績						
		8.05人	0人			R6実績												
		65,704千円	0人			R6実績												
613	経営企画部	企画総務課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		要望活動	R5目標	R5実績		R6目標値が未達成の理由・分析	A	今後の市や市協議会としての要望活動の在り方について十分に検討し、基地全面返還に向け努めていく。	R6年度に改善した点	9 産業と技術革新の基盤を作ろう	
			重要	自治事務		619千円	578千円				指標名	目標設定の考え方・根拠						
			根拠法令	第6次所沢市総合計画前期基本計画		R6予算現額	R6決算額(見込み)				実績	R6実績						
						619千円	584千円					3回						2回
			事業の目的及び具体的な内容	・所沢市基地対策協議会の運営 ・基地返還運動の推進 ・米軍通信基地に関する諸問題への対応 ・米軍通信基地跡地に関する諸問題への対応		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合				3回	R6目標						
						0.79人	0人					2回						3回
			期間	S25 ~		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合					R6実績						
		1.05人	0人			R6実績												
		0千円	0人			R6実績												
621	街づくり計画部	市街地整備課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		①電線共同溝整備工事(第3期)	R5目標	R5実績		R6目標値が未達成の理由・分析	B	令和6年度に国費の交付決定を受けた事業費の電線共同溝整備工事はすべて完了した。無電柱化整備事業に大きな遅れはなく、引き続き交差点周辺の安全性向上に取り組んでいく。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を	
			最優先	自治事務		69,126千円	56,785千円				指標名	目標設定の考え方・根拠						
			根拠法令	電線共同溝の整備等に関する特別措置法、道路法、所沢市電線共同溝管理規程		R6予算現額	R6決算額(見込み)				実績	R6実績						
						61,728千円	48,046千円					164m						89m
			事業の目的及び具体的な内容	ファルマン通り交差点周辺において、所沢東町地区第一種市街地再開発事業(組合施行)に伴う都市計画道路の拡幅に合わせ、ファルマン通り交差点改良事業を行った。 本事業は、これらの事業と一体的に無電柱化の整備を行うことにより、県が進める銀座地区の無電柱化と合わせて、旧町地区における災害時の通行の確保、歩行者の安全で快適な空間の確保や賑わいの創出など、人を中心としたまちづくりに資するものである。		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合				①電線共同溝整備工事(第3期)の実施	R6目標						
						1.47人	0人					128m						79m
			期間	R4 ~ R10		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合					R6実績						
		0.65人	0人			R6実績												
		5,305千円	0人			R6実績												

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(所属)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)				
					会計	投入コスト		活動実績(R6)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目					
631	建設部	道路建設課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	令和6年度は用地取得に向け、物件調査を実施したが、用地購入ができなかったため、目標達成に至らなかった。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを				
			優先	自治事務		13,830千円	2,551千円				R6予算現額	R6決算額(見込み)					①委託件数 ②用地購入件数	用地取得率	道路整備にあたっては、現段階において、必要な用地を確保することが重要となるため、用地取得率を指標とする。	
			根拠法令	道路法、都市計画法		12,849千円	7,103千円													
			事業の目的及び具体的な内容	主要地方道東京所沢線から所沢駅東口中央通りくすのき台交差点までの延長780mの道路で、鉄道により分断されている所沢駅東地区を道路の立体交差により一体化させ、駅周辺の慢性的な交通渋滞の解消を図るものである。 市道1-525号線(通称:大踏切通り)の西側は、街づくり計画部において都市基盤の整備を行い、市道1-525号線からくすのき台交差点までの区間を建設部において整備する。		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合				実績	R5目標					R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析		
			期間	H19 ~		1.20人	会年職員等	0人				0.0%					0.0%			
						9,697千円					R6目標	R6実績								
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合				①1件	4.6%					0.0%	物件調査や交渉に期間を要し、R6に用地購入する予定であった地権者2人と契約を結ぶことができず、用地購入ができなかった。		
		1.23人	会年職員等	0人	②0件															
		10,039千円																		
631	建設部	道路建設課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標を達成している。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを				
			-	自治事務		74,800千円	51,881千円				R6予算現額	R6決算額(見込み)					①用地取得率 ②工事進捗率	交通渋滞緩和 市道3-5号線、及び主要地方道川越所沢線(美原町3-2944-2前)に観測点を設定。当該都市計画道路開通により交通量1割削減を達成する。		
			根拠法令	道路法、都市計画法		0千円	0千円													
			事業の目的及び具体的な内容	新所沢の市街地から狭山市内の主要地方道所沢狭山線を結ぶ延長2,860mの道路で、隣接する自治体の都市計画道路と接続することによる交通の利便性の向上とともに、交通渋滞緩和と周辺住民の安心・安全確保を図るものである。		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合				実績	R5目標					R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析		
			期間	H16 ~		0.80人	会年職員等	0人				開通後1割削減					2532台			
						6,465千円					R6目標	R6実績								
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合				①100%	開通後1割削減					2620台(R6.7測定) 2171台(R7.7測定)	目標達成済 令和7年3月に北野下富線1工区と松葉道北岩岡線が同時開通し、開通後の令和7年7月に実施した交通量調査では前年度の交通量1割以上の削減を達成することができた。		
		0.18人	会年職員等	0人	②100%															
		1,469千円																		
633	建設部	道路建設課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標を達成している。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを				
			重要	自治事務		317,379千円	300,707千円				R6予算現額	R6決算額(見込み)					①改良整備工事件数(路線数) ②改良整備延長	単年度改良整備工事実施件数		
			根拠法令	道路法、土地収用法		166,095千円	144,136千円													
			事業の目的及び具体的な内容	自治会等から要望があった市道について、優先整備計画を基に狭隘道路の拡幅や交差点改良、歩道整備を行うことにより、安全性・利便性の向上や渋滞の緩和を図り、安全・安心な歩行者空間を確保するものである。		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合				実績	R5目標					R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析		
			期間	S25 ~		2.64人	会年職員等	0人				4件					4件			
						21,334千円					R6目標	R6実績								
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合				①2件(2路線)	2件					2件	目標達成済		
		2.32人	会年職員等	0人	②359.9m															
		18,936千円																		
633	建設部	道路建設課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	一部地権者から用地売却の理解が得られず、用地購入ができなかったため、目標達成に至らなかった。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを				
			最優先	自治事務		47,733千円	14,342千円				R6予算現額	R6決算額(見込み)					①用地取得面積 ②道路築造工事延長	新設道路の築造進捗率		
			根拠法令	道路法、土地収用法		148,920千円	116,664千円													
			事業の目的及び具体的な内容	三ヶ島地区の交通の利便性の向上、地域の活性化及び安心・安全な歩行空間を確保するため、入間市との共同事業として整備するものであり、1工区については平成30年度に完了し、2工区については、土地区画整理事業の予定区域と重複しているため、所管である街づくり計画部で取り組んでいる。3工区については、「林運動場」付近から入間市宮寺の県道所沢青梅線「南矢萩」バス停付近までのうち、所沢市分の約368mの区間を整備するものである。		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合				実績	R5目標					R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析		
			期間	R2 ~ R9		1.45人	会年職員等	0人				60.0%					50.0%			
						11,717千円					R6目標	R6実績								
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合				①548.82㎡	75.0%					63.0%	R6に用地購入する予定であった地権者2人と契約を結ぶことができず、用地購入ができなかった。		
		1.35人	会年職員等	0人	②180.0m															
		11,019千円																		

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(所属)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費		成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)							
					会計	投入コスト	活動実績(R6)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目							
633	建設部	道路建設課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	地権者から用地売却の理解が得られず、用地購入ができなかったため、目標達成に至らなかった。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを							
			最優先	自治事務											124,438千円	1,021千円	①用地取得面積	交差点の改良及び道路整備の進捗率	交差点改良・道路整備にあたり、大きく2段階に分け、それぞれ①用地購入60% (15%×4年) →②工事40% (20%×2年) を達成数値とする。	R6目標値が未達成の理由・分析	用地交渉にあたっては、関係機関との協議を綿密に行い、課題を解決した。
			根拠法令												R6予算現額	R6決算額(見込み)					
				道路法、土地収用法											358,053千円	6,618千円					
				事業の目的及び具体的な内容											R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合					
				県道所沢青梅線と所沢市道4-5号線・5-4号線が交差する狭山湖入口交差点において、埼玉県が県道に右折帯及び歩道の整備を行うことから、市道においてもクランク状に交差する交差点の改良及び道路整備を行い、交通の円滑化及び歩行者の安全の確保を図るものである。なお、本事業は、埼玉県と協定を結び本市で行っていくものである。											1.80人	0人					
			期間	R5 ~ R10											14,546千円	0人					
		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合																		
		1.50人	0人																		
		12,243千円	0人																		
633	建設部	道路建設課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標を達成している。	R6年度に改善した点	13 気候変動に具体的な対策を							
			-	自治事務											300千円	0千円	①具体的に取り組んだ事業数(研修への参加等)	会議・研修への参加、アンケートの実施等、取り組んだ事業の回数	本事業は環境に配慮しつつ安全かつ円滑な交通を確保するための調査・研究を行うものため、取り組んだ事業の回数を指標とする。	R6目標値が未達成の理由・分析	グリーンインフラの1つとして、近年の大雨対策に有効なものがあるかを含めて、メーカーの展示会等を視察し、情報収集を行った。
			根拠法令												R6予算現額	R6決算額(見込み)					
				道路法、河川法、土地収用法											265千円	14千円					
				事業の目的及び具体的な内容											R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合					
				一般的な道路の整備は、全面アスファルト舗装で施工されることによって、安全かつ円滑な交通を確保しているが、都市化が進む中で、緑の減少やヒートアイランド現象、河川の氾濫など環境問題に大きな影響を及ぼしている。本事業は、今後の道路整備の際に、環境に配慮しつつ安全かつ円滑な交通を確保するための調査・研究を行うものである。											0.40人	0人					
			期間	R5 ~											3,232千円	0人					
		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合																		
		0.36人	0人																		
		2,938千円	0人																		
633	建設部	道路建設課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	地権者から用地売却の理解が得られず、用地購入ができなかったため、目標達成に至らなかった。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを							
			最優先	自治事務											0千円	0千円	①用地取得面積	工事計画に対する進捗率。	橋の架け替え・道路整備にあたり、大きく2段階に分け、それぞれ①用地購入40% (買収面積に基づく) →②工事60% (10%×6年) を達成数値とする。	R6目標値が未達成の理由・分析	R6に用地購入する予定であった地権者1人と契約を結ぶことができず、用地購入ができなかった。
			根拠法令												R6予算現額	R6決算額(見込み)					
				道路法、河川法、土地収用法											175,901千円	19,872千円					
				事業の目的及び具体的な内容											R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合					
				柳瀬川に架かる松戸橋は、小・中学校の通学路に指定されていることに加え、安松地区から通勤・通学のため秋津駅および新秋津駅に向かう多くの市民が利用している。また、現在、狭い河川の中に2本の橋脚があることにより、川の流れの妨げとなっている。本事業は、築造から60年以上が経過し、老朽化が進む松戸橋について、交通の円滑化や歩行者の安全性を確保するため、両側に歩道を設けた橋への架け替えを行うとともに、市道1-365号線の道路整備を行う。											0.00人	0人					
			期間	R6 ~ R14											0千円	0人					
		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合																		
		1.57人	0人																		
		12,814千円	0人																		
634	建設部	道路維持課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	今後は整備路線の見直しや、新たにネットワーク計画を策定することにより、目標達成のために努力する。また、財政面においては、国庫補助金の活用を検討していく。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を							
			重要	自治事務											0千円	0千円	①自転車レーン設置工事	自転車レーン整備の実施延長(m)	歩行者・自転車の通行の安全性を確保するため、道路状況に応じた自転車レーンの整備を行い、その整備延長をもって指標とする。	R6目標値が未達成の理由・分析	所沢駅西口の商業施設開業に伴い、周辺の交通環境を整えるため、市道1-830号線(「所沢駅西口入口」交差点～「駒形」交差点)の延長1,281mの区間について自転車レーンの整備を行い、歩行者と自転車利用者の安全性の向上を図った。
			根拠法令												R6予算現額	R6決算額(見込み)					
				道路法、道路構造令、道路交通法、所沢市道路の構造の技術的基準等を定める条例、所沢市移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例											22,700千円	22,660千円					
				事業の目的及び具体的な内容											R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合					
				本事業は、歩道内における歩行者と自転車の接触事故軽減を目的として自転車レーンを整備し、安心で安全な道路空間を創出するものである。また、「マチごとエコタウン所沢構想」の観点から「自動車から自転車へ、自転車から徒歩へ」の理念のもと、まずは自転車利用を促進させるための道づくりを進めるとともに、環境負荷の軽減を図るものである。											0.45人	0人					
			期間	H29 ~											3,636千円	0人					
		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合																		
		0.50人	0人																		
		4,081千円	0人																		

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(所属)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
					会計	投入コスト		活動実績(R6)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目			
635	建設部	建設総務課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	道路照明灯について、新設の検討や迅速な修繕等、適切な維持管理を滞りなく行った。LED化整備事業によるリース道路照明灯については、不点修繕等の対応を契約業者と連携して行った。	R6年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに		
			重要	自治事務		152,065千円	140,645千円		①必要な修繕灯数 ②修繕実施灯数 ③電気料支払い灯数	修繕完了灯数	目標値：想定される修繕灯数 実績：修繕実施灯数				11 住み続けられるまちづくりを			
			根拠法令	所沢市照明灯設置基準		R6予算現額	R6決算額(見込み)				R5目標	R5実績			R6目標値が未達成の理由・分析		13 気候変動に具体的な対策を	
				事業の目的及び具体的な内容		【目的】歩行者、自転車及び車両の夜間交通の安全確保及び円滑かつ快適な利用を図る。 【内容】道路照明灯の新設・維持管理を行う。また、リース対象の8,602灯については、契約業者へ不点連絡をし、毎月借料の支払をする。	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合							R6目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			期間	553 ~		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		実績	170灯	112灯	R6目標値が未達成の理由・分析			どのように貢献したか			
						4,445千円	0人		R6目標	100灯	204灯	目標達成済			歩行者、自転車及び自動車の夜間交通の安全確保及び円滑かつ快適な利用を図るため、道路照明灯の効率的な設置・維持管理を行っていく。令和7年度以降は、非LED灯(ナトリウム灯等)のLED化をマチごとエコタウン推進課とも連携し進めていく。		非LED灯(ナトリウム灯等)のLED化	
						0.90人	0人		R7目標	200					建設総務課長 山田 和弘			
		7,346千円																
635	建設部	建設総務課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	LED化整備事業のリース防犯灯の他、自治会等が設置する防犯灯とあわせ、防犯灯のLED化率を向上することができ、安全なまちづくりに資することができた。	R6年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに		
			重要	自治事務		44,577千円	43,930千円		①新設費補助金 補助額 補助灯数 ②維持管理費補助金補助額 補助灯数 ③リース防犯灯数	目標値：補助金予算額 実績：補助金交付額	目標値：補助金予算額 実績：補助金交付額				11 住み続けられるまちづくりを			
			根拠法令	所沢市防犯灯補助要綱		R6予算現額	R6決算額(見込み)				R5目標	R5実績			R6目標値が未達成の理由・分析		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
				事業の目的及び具体的な内容		【目的】夜間における道路上での犯罪被害の防止。 【内容】自治会等が設置、維持管理する防犯灯に対し新設費(交換を含む)及び維持管理費の一部を助成することにより防犯灯の設置が促され、防犯効果の増大が図られるとともに、安全な都市空間を実現することになる。	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合							実績			24,293千円
			期間	553 ~		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		①2,218,000円 94灯 ②21,325,700円 13,809灯 ③7,068灯	24,505千円	23,544千円	申請書を提出した全自治会等に予算内で補助金を交付できたことで、自治会等の負担軽減及び防犯灯のLED化を進めることができ、安全なまちづくりに資することができたため、目標を達成とする。			補助金交付により、地域の防犯灯設置を促進し、住みやすい住環境づくりに寄与している。			
						0.90人	0人		R7目標	24,797千円					建設総務課長 山田 和弘			
						7,346千円												
635	建設部	道路建設課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標を達成している。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを		
			優先	自治事務		88,600千円	54,783千円		①街路樹更新本数 ②道路改良工事延長	工事計画に対する進捗率	各年度で計画した業務がどれくらい進捗できたかで評価する。				15 陸の豊かさを守ろう			
			根拠法令	道路法、道路構造令、所沢市道路の構造の技術的基準等を定める条例、所沢市移動円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例		R6予算現額	R6決算額(見込み)				R5目標	R5実績			R6目標値が未達成の理由・分析		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
				事業の目的及び具体的な内容		街路樹の更新を行い、木陰を創出するなど、緑陰の確保に努め、街並みと調和した街路樹を充実させ、歩きやすい歩道空間の整備を行い、「人を中心にしたマチづくり」歩いて過ごせるマチの実現を目指す。	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合							実績			100.0%
			期間	R3 ~		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		①植樹1本、伐採5本 ②130.6m	100.0%	100.0%	目標達成済			引き続き道路改良工事の沿道住民の理解を得ながら、街路樹更新や歩道空間の整備を行っていく。		緑陰の確保、歩きやすい歩道空間の確保を行っていく。	
						0.60人	0人		R7目標						道路建設課長 岩崎 幸司			
						4,849千円												
		6,530千円																
635	建設部	道路維持課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	ケヤキなどの街路樹については、大径木化し、樹形が乱れてしまっている。今後は、街路樹の役割である木陰を創出するなど緑陰の確保に努めるとともに、ケヤキの維持剪定を行い、街並みと調和のとれた街路樹の整備を行っていく。また、樹木診断を実施し、倒木の可能性がある街路樹については伐採を行い、事故防止に努めている。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			重要	自治事務		200,000千円	199,971千円		①高・中低木剪定数 ②除草 ③樹木診断	街路樹剪定・除草実施延長(km)	道路の景観や道路交通の安全確保を目的とするため街路樹の剪定や除草実施延長を指標とする。				11 住み続けられるまちづくりを			
			根拠法令	道路法		R6予算現額	R6決算額(見込み)				R5目標	R5実績			R6目標値が未達成の理由・分析		15 陸の豊かさを守ろう	
				事業の目的及び具体的な内容		都市景観の形成や防災、環境保全等を目的に道路空間に街路樹を植栽しているが、成長により見通し障害や交通障害、照明や標識の機能障害を及ぼす場合があるため、道路利用者が安全に通行できる環境整備を優先に、定期的な剪定、除草を行う。また、倒木の恐れがある街路樹については樹木診断を行い、伐採などの必要な措置を取り、適切な街路樹の管理を行う。今後は、「街路樹維持管理指針」に基づき、街路樹の樹形を整え、木陰を創出するなど、緑陰の確保に努めるとともに、ケヤキの維持剪定を行い街並みと調和した街路樹の充実を図る。	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合							実績			58km
			期間	549 ~		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		①4,925本 ②89,907㎡ ③60本	58km	41km	厳しい財政状況ではあるが、要望の多い路線を優先して実施しているため。			どのように貢献したか			
						3.05人	1人		R7目標						道路維持課長 村上 和雄			
						24,647千円												
		3.50人	1人															
		28,567千円																

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(所属)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)						
					会計	投入コスト		活動実績(R6)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目							
635	建設部	道路維持課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	道路バトロールや市民からの通報により、道路の危険状況を把握し、迅速に修繕や補修を行うことにより、事故を未然に防ぎ、歩行者や車両が道路を安心・安全に利用できるように努めている。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を							
			重要	自治事務	713,617千円	712,243千円		①要望・通報件数 ②道路維持補修工事 ③道路清掃	要望・通報に対する処理割合(%)	老朽化した道路や機能が低下した道路施設の修繕や補修を行うことが目的のため、要望・通報件数に対して処理した件数の割合を指標とする。	R6年度に改善した点											
			根拠法令	道路法、道路構造令、道路交通法、所沢市道路の構造の技術的基準等を定める条例、所沢市移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例	R6予算現額	R6決算額(見込み)					770,654千円			769,388千円		11 住み続けられるまちづくりを						
			事業の目的及び具体的な内容	道路管理者として、道路法のもと市道約1,159kmの交通の危険を防止し、交通の円滑を図るため、路面等の損傷箇所の修繕及び計画的な補修工事を行うものである。道路バトロールや市民からの通報により発見した道路損傷箇所について、現地調査を行い、速やかに修繕等の対応を図ることで、事故を未然に防ぐことを目標としている。	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合					9.94人			1人		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み						
			期間	S25 ~	8.09人	1人		66,031千円	実績		100.0%			97.0%		R6目標	100.0%	97.0%	異気象の増加による豪雨など、多様化・複雑化している要望が増え、解決にいたるまでの時間を要する案件や財政状況により年度内に完了できていない案件があるため。	どのように貢献したか		
			評価者	道路維持課長 村上 和雄	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		2.98人	0人		2橋			2橋		R6目標	2橋	1橋	道路の老朽化による振動や豪雨による雨水対策など、市民からの道路に対する要望は、今後も増え、対応件数は増加傾向にあるため、修繕や工事の優先順位を定めて、計画的に実施していく必要がある。	道路の保全と通行の安全確保を行った。		
			道路維持課長 村上 和雄	R6予算現額	R6決算額(見込み)		75,245千円	46,035千円		①修繕 ②通常(日常)点検 ③管理者協議(河川・鉄道等)	修繕した橋りょう及び横断歩道橋等の数(橋)			安全確保を目的とするため、定期点検により補修等が必要な橋りょう及び横断歩道橋等の修繕工事数を指標とする。		R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	道路法で定められている法定定期点検の診断結果をもとに、「所沢市橋梁長寿命化修繕計画」及び「所沢市横断歩道橋長寿命化修繕計画」の策定を行い、優先順位を見定めて、計画的な修繕を行っている。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を										
優先	自治事務	210,406千円	202,809千円		①修繕 ②通常(日常)点検 ③管理者協議(河川・鉄道等)	修繕した橋りょう及び横断歩道橋等の数(橋)	安全確保を目的とするため、定期点検により補修等が必要な橋りょう及び横断歩道橋等の修繕工事数を指標とする。	R6年度に改善した点														
根拠法令	道路法、道路構造令、所沢市道路の構造の技術的基準等を定める条例、所沢市移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例	R6予算現額	R6決算額(見込み)					75,245千円			46,035千円		11 住み続けられるまちづくりを									
事業の目的及び具体的な内容	道路法等の改正により、市管理の橋りょう及び横断歩道橋等の全てを5年に1回点検することとなり、計画的な点検、診断、修繕を行うことで延命化を行い、維持管理費用の縮減を図るものである。所沢市橋梁長寿命化修繕計画及び所沢市横断歩道橋長寿命化修繕計画に基づき、修繕を計画的に進めることで橋りょう等を延命化し、維持管理費用の縮減を図る。	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合					2.98人			0人		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み									
期間	H26 ~	2.90人	0人		23,670千円	実績		2橋			2橋		R6目標	2橋	1橋	R7年度は、健全度Ⅲ判定となっている弥生町歩道橋、天明橋、316号橋の修繕工事及び地蔵橋、413号橋、勢揃橋歩道橋の3橋の修繕設計を実施する。また、策定済みである「橋梁及び横断歩道橋の長寿命化修繕計画」に基づき、予防保全の観点から計画的な点検、診断、修繕を実施することで、引続きライフサイクルコストの縮減を図っていく。	道路の保全と通行の安全確保を行った。					
評価者	道路維持課長 村上 和雄	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		2.90人	0人		①1橋 ②203橋 ③5回			2橋		1橋	R6目標	1橋	予定していた2橋のうち、松井橋長寿命化工事が繰越明許となったため。なお、工事については、令和7年6月12日付けで完成となっている。	どのように貢献したか					
道路維持課長 村上 和雄	R6予算現額	R6決算額(見込み)		75,245千円	46,035千円		①修繕 ②通常(日常)点検 ③管理者協議(河川・鉄道等)	修繕した橋りょう及び横断歩道橋等の数(橋)			安全確保を目的とするため、定期点検により補修等が必要な橋りょう及び横断歩道橋等の修繕工事数を指標とする。		R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を					
641	都市計画部	都市計画課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	三ヶ島地区では実証運行から本格運行へ移行するとともに、停留所の新設を行った。(R6.4) ・柳瀬地区は利用促進のため、ルート、ダイヤの見直しを行った。(R7.1) ・富岡地区は、多間ルートを追加するとともに、停留所の新設を行った。(R6.10)	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを							
			重要	自治事務	86,374千円	79,900千円		①ところワゴン利用者数 ②アドバイザー活用回数	ところワゴン利用者数	三ヶ島地区：80人/日 (R7から150人/日に変更) 柳瀬地区：60人/日 富岡地区：30人/日 (R6から80人/日に変更) 三ヶ島地区の本格運行への移行にともない、運行実績に基づき目標値を上方修正した。(年間運行日数359日)	R6年度に改善した点											
			根拠法令	交通政策基本法、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律、道路運送法、所沢市地域公共交通協議会条例	R6予算現額	R6決算額(見込み)					109,053千円			91,776千円		11 住み続けられるまちづくりを						
			事業の目的及び具体的な内容	駅を中心としたコンパクトな街づくりと合わせて、駅へのアクセスの向上が求められており、住まいと、駅周辺の都市拠点を結ぶ公共交通ネットワークの構築に向けた取組として、新たな公共交通である「ところワゴン」の運行を行う。	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合					2.36人			0.5人		R6目標値が未達成の理由・分析						
			期間	H26 ~	1.96人	0.5人		15,839千円	実績		74,680人			67,329人		R6目標	67,329人	78,980人	85,198人	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
			評価者	都市計画課長 増子 雄一	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		2.02人	0.5人		①85,198人 ②2回			74,680人		67,329人	R6目標	67,329人	78,980人	85,198人	実証運行中の柳瀬地区、富岡地区について、地元地区との意見交換を通じてルート、ダイヤを見直し、令和7年3月からの本格運行に向けた手続きを進める。	公共交通の利用促進により、自家用車の使用及びCO2排出を抑制し、持続可能な街づくりに寄与した。
			都市計画課長 増子 雄一	R6予算現額	R6決算額(見込み)		109,053千円	91,776千円		①ところワゴン利用者数 ②アドバイザー活用回数	ところワゴン利用者数			三ヶ島地区：80人/日 (R7から150人/日に変更) 柳瀬地区：60人/日 富岡地区：30人/日 (R6から80人/日に変更) 三ヶ島地区の本格運行への移行にともない、運行実績に基づき目標値を上方修正した。(年間運行日数359日)		R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを		
実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	コースの新設や効率化、増便等により、前年度実績及び目標値を上回った。	R6年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに										
重要	自治事務	181,177千円	167,469千円		①年間総利用者数 ②年間運行便数 ③特別乗車証及び運転免許証返納者用無料乗車券の利用者数	年間総利用者数	高齢者、障害者、交通不便地域の住民及び公共施設利用者など、多くの方に利用されているかを計るため、年間総利用者数を成果指標としている。	R6年度に改善した点														
根拠法令	交通政策基本法、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律、道路運送法、所沢市地域公共交通協議会条例	R6予算現額	R6決算額(見込み)					181,337千円			180,194千円		11 住み続けられるまちづくりを									
事業の目的及び具体的な内容	市民の公共施設利用の利便性向上、市内の交通不便地域の解消、及び高齢者・障害者をはじめとする交通弱者対策を図ることを目的とし、3路線7コースにおいて、1日計83便のバスを運行している。	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合					1.96人			0.5人		R6目標値が未達成の理由・分析									
期間	H10 ~	1.82人	0.5人		14,855千円	実績		340,000人			359,425人		R6目標	360,000人	366,598人	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか					
評価者	都市計画課長 増子 雄一	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		1.82人	0.5人		①366,598人 ②27,007便 ③241,359人			340,000人		359,425人	R6目標	360,000人	366,598人	運転手不足といった社会問題への対応、市民の利便性の確保のため、引き続き運行の効率化を目指す。	公共交通の利用促進により、自家用車の使用及びCO2排出を抑制し、持続可能な街づくりに寄与した。				
都市計画課長 増子 雄一	R6予算現額	R6決算額(見込み)		181,337千円	180,194千円		①年間総利用者数 ②年間運行便数 ③特別乗車証及び運転免許証返納者用無料乗車券の利用者数	年間総利用者数			高齢者、障害者、交通不便地域の住民及び公共施設利用者など、多くの方に利用されているかを計るため、年間総利用者数を成果指標としている。		R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	R6年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに					

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(所属)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)				
					会計	投入コスト		活動実績(R6)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目			
641	街づくり計画部	都市計画課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	運賃協議部会における協議に至らなかったため。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を			
			最優先	自治事務	-	-		①運賃協議部会における協議の実施	運賃協議部会における協議の実施	目標設定の考え方・根拠				R6年度新規事業となる				
			根拠法令	道路運送法、所沢市地域公共交通協議会条例、所沢市地域公共交通計画	R6予算現額	R6決算額(見込み)										R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析
					34千円	0千円												
			事業の目的及び具体的な内容	とことろバス・とことろワゴン高齢者無料化事業(高齢者活動助成)	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	-	-	R6目標値が未達成の理由・分析								
			期間	とことろバス・とことろワゴンは、高齢の市民にとって重要な移動手段となっており、運賃を無料化することで活動の機会を広げ、高齢者の健康維持・増進を図るものである。地域公共交通協議会の部会として開催する「運賃協議部会」にて、無料化に向けた協議を行う。	-	会年職員等 0人												
			R6 ~		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	R6目標	R6実績	交通事業者との協議や、所沢市地域公共交通アドバイザーからの専門的知見に基づく意見により、運賃協議部会での協議の前に慎重に検討すべき課題があることが判明したため。									
		0.39人	会年職員等 0人	1回	0回													
		3,183千円	会年職員等 0人	①0回														
642	街づくり計画部	都市計画課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	平成28年度に出された交通政策審議会答申をもとに、光が丘から東所沢駅までの延伸を「一体整備」として進めていくため、埼玉県と東京都に対する要望活動を行うとともに、課題整理のために勉強会を実施している。引き続き、協議会と連携を図り、課題解決に向けた取り組みを行っていく。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを			
			-	自治事務	37千円	33千円		①会議開催 ②要望活動	延伸距離(光が丘駅～東所沢駅)	光が丘駅から東所沢駅までの延伸距離				R6目標値が未達成の理由・分析				
			根拠法令	-	R6予算現額	R6決算額(見込み)										R5目標	R5実績	
			事業の目的及び具体的な内容	都市高速鉄道12号線導入促進事業	0.34人	会年職員等 0人	実績	12.7km	0km	R6目標値が未達成の理由・分析								
			期間	東武東上線と西武池袋線に挟まれた鉄道不便地域の解消を目的として、練馬区、新座市、清瀬市、所沢市で構成する「都市高速鉄道12号線延伸促進協議会(以下「協議会」という)」を開催し、また延伸促進の早期実現に向け、東京都及び埼玉県へ要望活動を実施する。	2,748千円	会年職員等 0人	①3回	12.7km	0km	交通政策審議会の答申で、「一体整備」として評価され、協議会において検討を進めているが、延伸距離としては、整備事業等の進捗によるものであるため。								
			H5 ~		0.17人	会年職員等 0人	②2回											
					1,388千円	会年職員等 0人												
643	市民部	防犯交通安全課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	駅舎の基本設計を予定通り作成したが、県道の歩道整備のための用地買収が年度後半となったため、県の工事が次年度に施工となった。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを			
			最優先	自治事務	3,880千円	3,808千円		①鉄道事業者との交渉回数 ②周辺住民等への説明回数 ③用地取得に係る交渉回数	R6年度末までの事業による整備面積/事業による総整備面積(%)	西所沢駅西口改札口開設に向け、工事等が必要な総面積のうち、当該年度末までの整備面積の割合を指標とするものである。				R6目標値が未達成の理由・分析				
			根拠法令	-	R6予算現額	R6決算額(見込み)										R5目標	R5実績	
			事業の目的及び具体的な内容	西所沢駅西口改札口開設事業	120,996千円	74,121千円	実績			R6目標値が未達成の理由・分析								
			期間	地元自治会等からの請願が提出され、市議会で採択されたことを受け、西所沢駅利用者の利便性向上及び安全性確保を目的として取り組んでいる。平成27年に策定した西所沢駅西口開設整備計画及び令和5年に鉄道事業者と締結した基本協定に基づき、西口改札口を開設する。	2.15人	会年職員等 0人	①71回	58.5%	38.5%	県道の歩道整備工事に伴う用地取得のための契約が年度の後半だったため、県の歩道整備工事が次年度となった。								
			H17 ~		17,374千円	会年職員等 0人	②58回											
					2.15人	会年職員等 0人	③53回											
		17,548千円	会年職員等 0人															
651	上下水道局	経営課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	土地貸付料や広告収益等、継続的に確保できている収入に加え、定期預金による運用開始により大幅な収益増となった。	R6年度に改善した点	16 平和と公正をすべての人に			
			優先	自治事務	0千円	0千円		①債券運用益 ②旧水道庁舎用地利活用貸付料 ③検針票広告収益 ④広報紙広告収益 ⑤定期預金運用益	収益額	財源となる収益の確保を目標とする。				R6目標値が未達成の理由・分析				
			根拠法令	地方自治法、地方公営企業法、地方公共団体の健全化に関する法律、所沢市上下水道局印刷物広告の掲載に関する要綱	R6予算現額	R6決算額(見込み)										R5目標	R5実績	
			事業の目的及び具体的な内容	自主財源確保促進事業	0千円	0千円	実績	13,040千円	11,359千円	R6目標値が未達成の理由・分析								
			期間	水道事業の資産を有効活用し、自主財源の確保を図り、企業経営の健全化に努める。 ①長期的債券の購入・運用 ②旧水道庁舎用地の貸付け ③検針票への広告掲載 ④広報紙への広告掲載 ⑤一般会計基金等との共同運用(定期預金)	0.44人	会年職員等 0人	①721千円 ②10,320千円 ③247千円 ④67千円 ⑤7,844千円	13,690千円	19,200千円	目標達成済								
			H29 ~		3,556千円	会年職員等 0人												
					0.57人	会年職員等 0人												
		4,652千円	会年職員等 0人															

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(所属)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
					会計	投入コスト		活動実績(R6)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目		
652	上下水道局	上下水道局総務課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	児童の満足度及び理解度が90%以上を超えている。引き続き、児童に興味を持ってもらえる「出前教室」を実施していく。	R6年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに	
			優先	自治事務	30千円	4千円		児童の満足度・理解度	出前教室を受けた児童の満足度・理解度		水道及び下水道への興味を持ち、仕組みを理解することを目的としているため、出前教室を受けた児童の満足度・理解度を指標とする。						
			根拠法令	-	R6予算現額	R6決算額(見込み)											
			事業の目的及び具体的な内容	水道及び下水道の理解を深めるとともに、生活に欠かすことのできない水が限りある資源であることや形を変えながら陸・海・空を循環していること(水の循環)などを知ることにより、水の大切さに気付く、さらには地球の環境保全に対する意識を高めることを目的とし、市内の小中学校に上下水道局職員を派遣し、啓発用パンフレット「所沢の水道と下水道」等を使用して、水道及び下水道について出前教室を行う。	R5正規職員人件費	0.72人	R5その他職員従事割合	0人	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析						
			期間	H28 ~	5,818千円	年会職員等	0人	実績	児童の満足度・理解度各90%以上	児童の満足度93.2% 理解度95.4%	R6目標値が未達成の理由・分析						
					R6正規職員人件費	0.86人	R6その他職員従事割合	0人	児童の満足度94.5% 理解度96.6%	児童の満足度94.5% 理解度96.6%	R6目標値が未達成の理由・分析						
					7,019千円	年会職員等	0人	実績	児童の満足度94.5% 理解度96.6%	児童の満足度94.5% 理解度96.6%	R6目標値が未達成の理由・分析						
652	上下水道局	経営課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	参加者から「水の循環を学ぶことができてとても勉強になった。」「油を流さないなど、なるべく水を汚さない生活を心がけようと思った。」「毎年、見学会を続けたら多くの人に上下水道の大切さが伝わるといった。事業に対する満足感のみならず、上下水道に対する知識や理解の促進につなげることができた。	R6年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに	
			重要	自治事務	171千円	85千円		①参加者の満足度	参加者の満足度(実施後のアンケートで「楽しかった」又は「まあまあ楽しかった」と回答した人数の割合)		上下水道に関する理解や関心の高まりを把握する指標として参加者の満足度を設定し、9割以上の満足度を達成できることを目標としている。						
			根拠法令	-	R6予算現額	R6決算額(見込み)											
			事業の目的及び具体的な内容	上下水道に関する知識・理解を深め、水資源の大切さや環境衛生の保全に対する意識を高めることを目的に、親子参加型の施設見学会を実施する。	R5正規職員人件費	0.31人	R5その他職員従事割合	0人	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析						
			期間	R2 ~	2,505千円	年会職員等	0人	実績	90%以上	100.0%	R6目標値が未達成の理由・分析						
					R6正規職員人件費	0.58人	R6その他職員従事割合	0人	①100.0%	90%以上	100.0%	R6目標値が未達成の理由・分析					
					4,734千円	年会職員等	0人	実績	90%以上	100.0%	R6目標値が未達成の理由・分析						
652	上下水道局	給水管理課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	湧水時や災害時などの水源としても活用できるよう、2か所の取水井の清掃及び機能診断を行うことにより、適正揚水量で運用することができた。	R6年度に改善した点	6 安全な水とトイレを世界中に	
			優先	自治事務	11,330千円	11,330千円		①取水井の保全	地下水の揚水量		湧水時や災害時に活用できるよう、自己水源である取水井内部の清掃及び機能診断を行うとともに、取水井の機能維持及び水質保全のため、適正揚水量で運用する。						
			根拠法令	水道法、所沢市水道ビジョン、所沢市水道事業経営計画	R6予算現額	R6決算額(見込み)											
			事業の目的及び具体的な内容	取水井(35箇所)の清掃及び機能診断を毎年2か所実施する。取水井の機能維持及び水質保全のため揚水量約10,000m³/日で運用する。	R5正規職員人件費	0.70人	R5その他職員従事割合	0人	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析						
			期間	H5 ~	5,657千円	年会職員等	0人	実績	350万m³	478万m³	R6目標値が未達成の理由・分析						
					R6正規職員人件費	0.64人	R6その他職員従事割合	0人	①398万m³	350万m³	394万m³	R6目標値が未達成の理由・分析					
					5,224千円	年会職員等	0人	実績	350万m³	394万m³	R6目標値が未達成の理由・分析						
653	上下水道局	窓口サービス課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		C	リモート検査試行のため、協力いただける工事業者に呼びかけを行ったが、目標値は未達成であった。今後は、引き続き、工事業者との相互理解を図るとともに、リモート検査に協力いただけるよう周知を行っていきたい。	R6年度に改善した点	6 安全な水とトイレを世界中に	
			-	自治事務	743千円	536千円		①アプリケーションの選定	リモート検査実施件数		リモート検査を一部の現地立会検査の代替とすることが目的となっていることから、リモート検査の実施件数を指標とする。						
			根拠法令	水道法、所沢市水道事業給水条例	R6予算現額	R6決算額(見込み)											
			事業の目的及び具体的な内容	給水装置工事のリモート検査導入により、職員の検査に伴う移動時間の削減と一日当たりの検査受付件数の拡大が可能となり、指定給水装置工事事業者の工程管理を円滑にする。工事事業者が現場の施工状況を撮影し、映像及び音声を用いたWeb会議システム等を介して職員が局庁舎にて検査を行う。	R5正規職員人件費	0.35人	R5その他職員従事割合	1人	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析						
			期間	R5 ~	2,828千円	年会職員等	1人	実績	15件	9件	R6目標値が未達成の理由・分析						
					R6正規職員人件費	0.35人	R6その他職員従事割合	1人	①選定済	24件	5件	R6においては、前年に引き続きWeb会議システムアプリの検討及び端末の現場での操作性、安全性等の検証を行う試行段階であること。また、当該検査申込みが不足したこと。					
					2,857千円	年会職員等	1人	②5件			R6においては、前年に引き続きWeb会議システムアプリの検討及び端末の現場での操作性、安全性等の検証を行う試行段階であること。また、当該検査申込みが不足したこと。						

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(所属)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費		成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
					会計	投入コスト	活動実績(R6)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目
653	上下水道局	水道建設課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	事業の進捗率は97.45%となっており、概ね計画通りに事業を進められている。	R6年度に改善した点	6 安全な水とトイレを世界中に
			最優先	自治事務	3,330,898千円	2,130,737千円	①小口径管・大口径管の更新延長 ②新設水道管の布設延長(区画整理・計画道路地内)	小口径管・大口径管の更新延長	所沢市水道事業経営計画では令和3年度から令和12年度までの10年間で98,000mの更新を計画しているため、令和3年度から当該年度までの累計距離を目標とした。	R6目標値が未達成の理由・分析			9 産業と技術革新の基盤を作ろう	
			根拠法令	水道法、所沢市水道事業給水条例、所沢市水道ビジョン、所沢市水道事業経営計画	R6予算現額	R6決算額(見込み)							2,637,152千円	2,314,156千円
			事業の目的及び具体的な内容	(目的) 市内全域に安定的に水を供給するとともに災害に強い施設とするため、老朽管の更新を実施している。 (内容) 老朽化した水道管(重要給水施設管路を含む)及び水道管未整備路線(区画整理事業地内等)について、耐久性、耐震性を持つダクタイル鑄鉄管等に整備する。	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	13.36人	0人	実績	29,400m			29,799.4m	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			期間	R3 ~ R12	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	107,962千円	0人	①8,402.9m	R6目標			R6実績	どのように貢献したか
					R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	13.61人	0人	②0.0m	R6目標			R6実績	事業量や難易度に対応できるような適正な人員の配置、職員の育成、工法の検討等を図り、計画に遅れが生じないよう事業を実施していく。
					R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	111,085千円	0人		R5目標			R5実績	老朽化した水道管の更新を行い、安全な水の安定供給に貢献した。
									評価者 水道建設課長 古澤 祐晴					
653	上下水道局	給水管理課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	令和5年度策定の基本計画を基に用地取得に向け関係機関協議及び地権者交渉を行い、取得可能な範囲を把握できたため。	R6年度に改善した点	6 安全な水とトイレを世界中に
			最優先	自治事務	39,578千円	39,578千円	①関係機関協議、用地交渉	西部浄水場更新事業の進捗状況	西部浄水場更新工事完了までに必要となる各段階の手続きや事業の進捗状況を指標とする。	R6目標値が未達成の理由・分析			9 産業と技術革新の基盤を作ろう	
			根拠法令	水道法、水道施設の技術的基準を定める省令、所沢市水道ビジョン、所沢市水道事業経営計画	R6予算現額	R6決算額(見込み)							0千円	0千円
			事業の目的及び具体的な内容	西部浄水場について、アセットマネジメント手法を用いて将来の更新需要を分析し、老朽化した当該施設の耐震性や適正規模についての検討を行った。 本事業は、検討結果をふまえて、ダウンサイジングを見据えた当該施設全体の再構築を行い、配水池や管理棟など全ての場内施設を計画的に更新するものである。	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	1.05人	0人	実績	基本計画策定			基本計画策定	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			期間	R4 ~ R18	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	8,485千円	0人	①関係機関協議及び地権者と用地交渉を実施し、用地取得が可能な範囲が判明した。	R6目標			R6実績	どのように貢献したか
					R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	1.35人	0人		用地交渉、関係機関協議			用地交渉、関係機関協議	今後は、取得可能な土地で更新工事ができるか基本設計を行う。
					R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	10,909千円	0人						老朽化した施設を適正規模で計画的に更新することにより、水道水の安定供給に寄与する。
									評価者 給水管理課長 坂野 浩明					
653	上下水道局	給水管理課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	水道の安定供給を図るため、設置から30年以上経過し、機能低下が予測される第一浄水場の電気設備更新工事を実施するなど、設備の延命化を図り計画的な予防保全型維持管理に努めながら、設備の更新を実現している。	R6年度に改善した点	6 安全な水とトイレを世界中に
			優先	自治事務	149,860千円	132,693千円	①電気設備更新工事(第一浄水場) <令和5~7年度継続事業> ほかに2件	設備の更新を実施する箇所数	所沢市水道事業経営計画に基づき計画的に更新工事を行い、設計業務委託完了及び更新工事完了を指標とする。	R6目標値が未達成の理由・分析			9 産業と技術革新の基盤を作ろう	
			根拠法令	水道法、水道施設の技術的基準を定める省令、所沢市水道ビジョン、所沢市水道事業経営計画	R6予算現額	R6決算額(見込み)							329,062千円	148,480千円
			事業の目的及び具体的な内容	所沢市水道事業経営計画に基づき、各浄水場の電気設備やポンプ設備などの水道施設を計画的に更新するものである。	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	1.75人	0人	実績	8か所			8か所	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			期間	H23 ~	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	14,142千円	0人	①3か所	R6目標			R6実績	どのように貢献したか
					R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	2.45人	0人		R6目標			R6実績	浄水場施設・設備全般について、計画的に点検や消耗部品の交換など実施し、予防保全型維持管理に努め、設備の延命化を図る。
					R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	19,997千円	0人						施設の適切な管理で、水道水の安全性と安定供給を行っている
									評価者 給水管理課長 坂野 浩明					
661	上下水道局	経営課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	営業活動に努め、新たに4箇所の契約を締結することができたが目標達成には及ばなかった。しかしながら、前年度同様、他自治体等からの視察を含め多くの問合せがあり、本市の取り組みは広く注目を集めている。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを
			優先	自治事務	8,060千円	5,862千円	①マンホール蓋広告設置箇所数 ②マンホール蓋広告収益 ③検針票広告収益 ④広報紙広告収益 ⑤定期預金運用益	有料広告用デザイン入りマンホール蓋及びイルミネーションマンホール蓋の設置箇所数の合計	下水道事業における自主財源確保の主要事業であるマンホール蓋広告の設置数を指標とし、設置箇所数の増加を目標としている。	R6目標値が未達成の理由・分析			多くの企業に当該事業に対する理解と協賛をいただくため、市内事業者を中心にPRを兼ねたダイレクトメールを送付するなどの営業活動を実施した。	
			根拠法令	地方公営企業法、地方公共団体の健全化に関する法律、所沢市上下水道局マンホール蓋広告の掲載に関する要綱、所沢市上下水道局印刷物広告の掲載に関する要綱	R6予算現額	R6決算額(見込み)							8,275千円	4,213千円
			事業の目的及び具体的な内容	下水道事業の資産を有効活用し、自主財源の確保を図り、企業経営の健全化に努める。 ①マンホール蓋を活用した広告掲載 ②イルミネーションマンホール蓋を活用した広告掲載 ③検針票への広告掲載 ④広報紙への広告掲載 ⑤一般会計基金等との共同運用(定期預金)	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	0.54人	0人	実績	60箇所			52箇所	どのように貢献したか
			期間	H29 ~	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	4,364千円	0人	①56箇所 ②7,978千円 ③247千円 ④67千円 ⑤1,961千円	R6目標			R6実績	既存広告主へは引き続きアフターフォローとして清掃、点灯確認、機器点検等の維持管理を適切に行い、契約期間が終了する広告主へは契約延長に向けた営業活動を行っていく。併せて新規契約の獲得に向けて引き続き営業活動にも力を入れていく。
					R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	0.62人	0人		R6目標			R6実績	下水道事業の健全な経営のための経済的活用にも力を入れている
					R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	5,060千円	0人						評価者 経営課長 中澤 宏和

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(所属)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費		成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
					会計	投入コスト	活動実績(R6)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目		
662	下水道局	下水道整備課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標を達成しており、成果をあげていると考えている。今後も引き続き、第2次市街化調整区域下水道整備計画に基づき、事業を計画通り進める。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			最優先	自治事務	3,266,201千円	2,542,572千円	①汚水管の整備面積	整備面積	汚水管の整備面積が拡大することで目標達成の成果が把握できるので、整備面積を指標とする。	R6目標値が未達成の理由・分析			6 安全な水とトイレを世界中に			
			根拠法令	下水道法、都市計画法、社会資本整備総合交付金交付要綱、第1次市街化調整区域下水道整備計画	R6予算現額	R6決算額(見込み)							2,254,025千円	1,751,311千円	9 産業と技術革新の基盤を作ろう	
			事業の目的及び具体的な内容	生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図るため、主に下水道未整備区域の汚水管整備を進める。平成15年度から「第1次市街化調整区域下水道整備計画」に基づき整備に着手し、第1期から第3期までの各5年間の整備事業は完了した。令和2年度からは第4期市街化調整区域の面整備事業を行っている。	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	12.74人	1人	実績	9.6ha			11.8ha	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
			期間	H15 ~ R17	102,952千円	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	12.17人	1人	①7.2ha			R6目標	R6実績	令和7年度に繰越した第4期事業の工事は早期の完了を予定している。今後も下水道普及率の向上に寄与するため、市街化調整区域における汚水管の布設工事を実施していく。	下水道整備によって公共用水域の水質保全に貢献している。
					99,332千円	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合						R5目標	R5実績		
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合						R6目標	R6実績		
662	下水道局	下水道維持課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	令和6年度分の収納率については、目標値の98%を上回った。令和7年度も前年度に引き続き市民の目線に立った丁寧な説明等を行うとともに、委託業者による年2回の訪問徴収や電話での督促のほか、職員による自宅訪問の回数を増やすなどして、受益者負担金の徴収強化を図っていく。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを		
			重要	自治事務	377千円	164千円	①調定額	現年度分徴収率	収入済額/調定額(収入すべし額) ※都合により納付が年度内にできない納付者を考慮したため、目標を98%以上にしている。	R6目標値が未達成の理由・分析			16 平和と公正をすべての人に			
			根拠法令	都市計画法第75条、所沢都市計画下水道事業受益者負担に関する条例	R6予算現額	R6決算額(見込み)							618千円	263千円	2 収入済額	R5目標
			事業の目的及び具体的な内容	下水道の整備により利益を受ける人に建設費の一部の負担を求めていることにより、公共下水道の整備を推進する。 ・公共下水道整備地区の土地所有者等に対し、事業説明会、申告受付を経て、対象となる土地の面積に単価を乗じて負担額を決定する。 ・市街化調整区域の土地の面積に単価を乗じて、令和2年度より1㎡当たり1,130円となった。 ・納付方法は、5年間の分割納付が基本であるが、希望により一括納付もできる。	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	1.20人	0人	実績	98.0%以上			98.7%	令和2年度から開始した第4期事業の賦課・徴収と並行して、令和5年度から開始した第9負担区の賦課・徴収を行った。今後も未納者への訪問回数を増やすとともに、事業への理解を求めている。	下水道整備の財源である受益者負担金の徴収により、事業が円滑に進み、公衆衛生の向上に寄与した。	
			期間	S44 ~	9,697千円	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	1.25人	0人	①83,498,600円 内訳)78,424,400円(第8負担区) 5,074,200円(第9負担区)			R6目標	R6実績		
					10,203千円	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合			②84,188,500円 内訳)79,043,900円(第8負担区) 5,144,600円(第9負担区)			R5目標	R5実績		
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合						R6目標	R6実績		
663	下水道局	下水道整備課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標を達成しており、成果をあげていると考えている。今後も所沢市下水道総合地震対策計画に基づく長期計画の事業を計画通り進める。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			最優先	自治事務	305,862千円	290,376千円	①マンホールの地震対策	各年度のマンホール・管渠の耐震化工事量	所沢市下水道総合地震対策計画に基づく長期計画(令和5年度～令和9年度)において、各年度で設定した耐震化の工事量を目標指数とする。	R6目標値が未達成の理由・分析			6 安全な水とトイレを世界中に			
			根拠法令	下水道法、都市計画法、下水道総合地震対策計画	R6予算現額	R6決算額(見込み)							1,049,386千円	769,669千円	②管渠の地震対策	R5目標
			事業の目的及び具体的な内容	平成21年度に策定した所沢市下水道総合地震対策計画に基づき、重要な幹線や緊急輸送道路等に埋設されている下水道施設を対象に、災害に強いライフラインを構築するため、管渠やマンホール等の耐震化を進める。令和5年度からは、長期計画に基づき事業を進めていく。	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	1.31人	0人	実績	①0箇所 ②222m			①0箇所 ②222m	耐震化の対象路線の中には、幹線管渠であり、断面が大きく流量も多いうえマンホールも深く、施工困難な条件のため工法等の検討に苦慮している箇所もある。他自治体の施工実績や現場状況を確認しながら、引き続き可能な施工方法を検討していく。	重要なライフラインである下水道の耐震性能が向上することで、下水道の機能保全に貢献している。	
			期間	H21 ~ R9	10,586千円	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	1.45人	0人	①0箇所			R6目標	R6実績		
					11,835千円	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合			②1,821m			R5目標	R5実績		
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合						R6目標	R6実績		
663	下水道局	下水道整備課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	令和6年度目標に達していないが、施設の本体工事(継続費)の出来高は令和7年3月末で約40%となっており、着実に事業は進捗している。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			最優先	自治事務	40,000千円	0千円	①事業の進捗率	事業完了に向けた各年度の進捗率	事業の進捗状況を確認することで目標達成の成果が把握できるので、進捗率を指標とする。	R6目標値が未達成の理由・分析			11 住み続けられるまちづくりを			
			根拠法令	下水道法	R6予算現額	R6決算額(見込み)							200,076千円	179,432千円	R5目標	R5実績
			事業の目的及び具体的な内容	令和3年度に実施した上新井地区浸水対策検討業務委託に基づき、上新井四丁目地区について、効率的に浸水被害の軽減を図るため、既存管渠を利用し、一時的に雨水を貯留する施設(雨水調整池)を公園地下に築造する。	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	0.64人	0人	実績	20.0%			10.0%	人件費及び資材価格の高騰により工事費への影響が懸念されるが、計画通りの施設完成に向けて、適正な進捗管理を行っていく。	雨水貯留施設(雨水調整池)を築造することにより、雨水流出を抑制し、浸水被害の軽減に貢献している。	
			期間	R5 ~ R7	5,172千円	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	0.75人	0人	①40%			R6目標	R6実績		
					6,122千円	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合						R5目標	R5実績		
						R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合						R6目標	R6実績		

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(所属)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
					会計	投入コスト		活動実績(R6)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目		
663	下水道局	下水道維持課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	改善要望は対応できている。外部情報を受けると直ちに現地確認を行い迅速に対応している。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			重要	自治事務	2,237,029千円	2,004,603千円		①管渠清掃延長	改善要望対応割合	マンホール蓋のガタツキ、振動、騒音、下水道管の詰まり、臭気、溢れ等の改善要望件数に対し、改善が完了した割合とする。すべての要望に対応する「100%」を目標とする。	R6目標値が未達成の理由・分析						
			根拠法令	R6予算現額	R6決算額(見込み)		②マンホール蓋取替数										
				下水道法	1,996,464千円	1,873,832千円		③改善要望件数									
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析									
			重要なライフラインである下水道を適切に維持管理し、その機能を発揮させ継続的に利用できる環境を整える。 ①土砂及び油脂の堆積による流下能力の低下を防ぐための下水道管渠清掃 ②老朽化している施設の更新 ③下水道施設から発生する臭気対策及び道路陥没等のテレビカメラを使用した原因調査 ④降雨災害防止のための対策及び巡視 ⑤市内ポンプ場・調整池等の適切な運転管理、監視・安全管理の徹底	11.15人	0人	実績	100.0%		100.0%								
			期間	S33 ~	90,103千円	会年職員等	0人	①2,174m	R6目標	R6実績	100.0%					100.0%	目標達成済
		10.80人	会年職員等	0人	②393個												
		88,150千円	会年職員等	0人	③135件												
					④44箇所												
663	下水道局	都市下水道維持管理課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	定期的な調整池等の除草・スクリーン清掃等を実施し、適切な維持管理と事故防止の徹底を図っている。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを		
			重要	自治事務	73,700千円	59,175千円		①除草面積	調整池等の点検回数	調整池及び水路等の適切な維持のため、週1回のパトロールを実施することとし、年間50回を目標とする。	R6目標値が未達成の理由・分析						
			根拠法令	R6予算現額	R6決算額(見込み)		②堆積土しゅんせつ量										
			下水道法	88,966千円	68,560千円		R5目標	R5実績	R6目標	R6実績	50回					58回	
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	50回	58回	R6目標	R6実績	50回					66回	目標達成済
			浸水のない快適な都市環境を保持し、市民の安全で快適な生活を守るため、都市下水道及び調整池を適切に管理する。 ①堆積土のしゅんせつ ②除草、樹木の剪定 ③施設の補修及び改良工事 ④降雨災害防止のための対策及び巡回	4.55人	0人	①68,410㎡											
			期間	S45 ~	36,769千円	会年職員等	0人	②344㎡									
		4.20人	会年職員等	0人													
		34,280千円															
664	下水道局	下水道維持課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	前年度に引き続き目標値達成となった。市内の改築と毎年度約30kmの管渠点検調査の双方が順調に進展している。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			優先	自治事務	328,892千円	195,196千円		①改築延長	改築延長	緊急度IないしIIにおける改築工事の計画及び実施延長を指標とする。	R6目標値が未達成の理由・分析						
			根拠法令	R6予算現額	R6決算額(見込み)		②テレビカメラ調査延長										
			下水道法、社会資本整備総合交付金交付要綱、所沢市下水道ストックマネジメント計画、所沢市ストックマネジメント実施方針	510,619千円	393,149千円		R5目標	R5実績	R6目標	R6実績	710.0m					858.7m	
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	710.0m	858.7m	R6目標	R6実績	1,017.0m					1,065m	目標達成済
			平成29年度に策定した「所沢市ストックマネジメント実施方針」に基づき、予防保全を中心とした計画的な維持管理等を行い、事業費の平準化を図るとともに下水道機能を持続的に確保するものである。	4.60人	0人	①1,065m											
			期間	H23 ~	37,173千円	会年職員等	0人	②32,995m									
		5.20人	会年職員等	0人													
		42,442千円															
664	下水道局	下水道維持課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	必要なテレビカメラ調査を実施し、対策への準備が着実に進んでいる。	R6年度に改善した点	6 安全な水とトイレを世界中に		
			最優先	自治事務	311,823千円	252,391千円		①テレビカメラ調査延長	テレビカメラ調査延長	既設下水管のテレビカメラ調査の計画及び実施延長を指標とする。	R6目標値が未達成の理由・分析						
			根拠法令	R6予算現額	R6決算額(見込み)		②雨水管更生延長										
			下水道法 雨天時浸入水対策ガイドライン(国)、所沢市雨天時浸入水対策計画	190,893千円	99,988千円		R5目標	R5実績	R6目標	R6実績	3,470.0m					3,470.0m	
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	3,470.0m	3,470.0m	R6目標	R6実績	5,640.0m					5,640.0m	目標達成済
			近年、下水道施設の老朽化に伴い、台風やゲリラ豪雨などの雨天時に汚水管への雨水の流入を起因としたマンホール蓋の飛散、溢水、宅地内への逆流等の被害が多発している。これを受けて、発生原因箇所への対策として汚水管の改築や雨水施設の設置等を行うことで汚水管へ浸入する雨水の量を抑制するとともに、施設対策として汚水貯留施設等を築造し流量の調整を行うことで、下流への流出量を低減させるものである。	1.70人	0人	①5,640.0m											
			期間	R3 ~ R23	13,738千円	会年職員等	0人	②620.7m									
		2.03人	会年職員等	0人													
		16,569千円															